

なった。排ガスに含まれる有害物質がアトピーに関係する可能性があることを知り、環境問題に取り組まなければいけないと思った。

運送会社は、基本的にはゴミを出さない産業なので、排気ガスを何とかすれば完全なゴミゼロ産業になる。何とかならないものかと考えていた時、市民祭りの会場で天然ガストラックと出会った。排気ガスがクリーンだと聞き、そんな車があるのかと思ったが、試しに2台購入したところ、本当に排気ガス中の黒煙がゼロだった。その時、これからの運送会社は21世紀型の低公害車を使うべきだと感じた。ちょうど京都議定書が話題になり、尼崎公害訴訟が問題になりだした時で、メディアが環境経営について取り上げるようになっていた。当時はまだインフラはなかったが天然ガストラックという切り札が出てきた。私は、とにかく子供のアトピーを何とかしたいという思いで天然ガス車を導入した。

天然ガス自動車はCO<sub>2</sub>排出量がガソリン車より2~3割低く、NO<sub>x</sub>、COが少なく、黒煙がゼロ、SO<sub>x</sub>もゼロで地球環境に優しい車である。これからの運送業は、この車を普及させ使っていく使命がある。このように考え、天然ガス車のみの運送会社を作り、天然ガス車の普及に取り組むためエコトラックを設立した。21世紀、これからの企業は社会に貢献する企業でありたいと思うし、利益を出したらそれを社会に還元できる企業でありたい。また、企業個々の責任を取ればいいのではなく、企業は社会的責任を負っているのではないかと捉えていた。そして私どもは運送会社なので、第一に安全、そして環境、啓発、この3本を柱にしなから事業活動を進めていくと決めた。

天然ガス車の普及のための取り組みとして、地元のお祭りなど、イベントへの出展を行っている。その他にも天然ガス車の展示や、ブースの出展など普及に努めている。イベントだけでなく講演やフォーラムでは、実際にトラックを持ってきて、運送会社に説明をしたり、セミナーを開いたりしている。環境教育も行っており、創業当初から小学校に出向いて授業を行っている。小学校にトラ

ックを持ち込んで、エコトラックとディーゼル車との排ガス比較実験をのべ100校以上、1万人以上の子供たちに向けて行ってきた。これらを多く認めていただき、様々な賞を頂戴している。

弊社では「ecotruckers」をブランドにしようという取り組みをしている。弊社はエコカーしか導入していない。さらに、日本で市販のエコカーが無い大型トラックの分野においても、HKSというエンジンメーカーと共同開発したエンジンを積んだ大型天然ガストラックを導入している。この車輛は、排ガス規制が世界一厳しい日本においてもダントツに規制をクリアしており、これ以上排ガスがきれいな大型車はないと考えている。

車が一番のものを使用しているのなら、一番の車に一番のドライバーを乗せて一番のサービスをすればどこにも負けない会社作りができるのではないかと考え、若手の人材育成に取り組んでいる。私たちがなぜ環境に取り組むのかは、次世代に地球環境を引き継ぐためなので、人を育てることが一番重要だと考えている。「ecotruckers」のブログを作ったり、Face Bookも積極的に使い、業務だけにとらわれない生の声を載せているので覗いてみてほしい。一言で人を育てるといっても、時間と手間と忍耐強さが必要である。全体安全講習会も年2回行い、安全対策も色々取り入れて忍耐強く続けている。人材教育の中で、地域の警察と自転車前カゴひたくり防止カバーのボランティアも新入社員を中心に参加している。また、ecotruckersの5Sの約束としてSMART、素直、SMILE、SAFETY、SERVICEの5つを大切に考えている。

私どもの経営は環境経営という事業活動とCSRの社会活動を同じ力で推進している。これを最初から貫いて取り組んでいる企業である。

石川 武 氏

三共精機株式会社 代表取締役社長

三共精機は機械工具を扱っている商社である。創業は1948年で、私が3代目になる。京都に本社